



第376号

2018年 2月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

世界病者の日 2月11日 病者がふさわしい援助を受けられるように、また苦しんでいる人が自らの苦しみの意味を受け止めていくための必要な助けを得られるように、カトリックの医療関係者に対してだけでなく、広く社会一般に訴えていかなければなりません。

四旬節愛の献金(四旬節中) この「愛の献金」は、カリタスジャパンを通して海外諸国と日本各地に送られ、難民や孤児、そして、貧困、失業、飢餓などに苦しむ多くの人々のいのちを守るために、また彼らの自立を助けるために使われます。

教区ホームページ

福音のひびき

2月の説教者

4日 年間第5主日 北村 雅彦 (聖心教会)

11日 年間第6主日 シェンディ・カニシウス・クンダク (敦賀教会)

18日 四旬節第1主日 太田 実 (カトリック名古屋教区)

25日 四旬節第2主日 アーノルド・ブルム (豊橋教会)

「人生の目的は

神との関係の中でわかる」

新成人を祝う教区新年の集い

「新成人を祝う教区新年の集い」が1月21日、カトリック布池教会大聖堂で開かれ、約150人の参列者が新成人を祝った。五反城、布池、一宮、みどころセンター、小牧の各教会から一人ずつ、計5人の新成人が出席し、

祝福を受けた。ミサの主司式は松浦悟郎司教、野村純一名誉司教と20人の司祭が共同司式、3人の助祭が祭壇奉仕をした。松浦司教は説教で、神の前で成人式を迎える意味について、当日の福音(マルコ1:14-20)に触れて語った。「神様は、命が宿った瞬間から皆さんの名前を呼んで、ずっと一緒に歩んでくださっています。弟子たちも心の奥深くに神様が語りかけているのを感じていたことでしょう。人生を歩むうちにそれがだんだんと明確になっていく。そして、イエスに出会い、呼ばれて、すべてを捨てて従った。自分の人生の意味が変わるのです」

「私は何のために生きてきたのか。神様との関係の中で、自分の人生の目的をはっきりと確認し、これからも続く日常生活の中でイエス様が呼びかけられる道を選び、歩んで行つてほしいと思います」と、新成人に新たな選びを呼びかけた。共同祈願後、司教は新成人一人一人に按手で祝福を与え、さらに拝領祈願の後、司教団メッセ「いのちへのまなざし」の本と記念品として一連のロザリオを手渡した。ミサ後の地下ホールでの茶話会では、前回と前々回に新成人として祝福された二人の青年が司会を務めた。新成人たちはそのインタビューに答えて、将来の夢を元気に語っていた。「建築士になれるようがんばります」とある女性が答えたときには、「すごい！」の声が会場から上がり、熱い拍手がおこられた。

青年たちと松浦司教のベースギターで編成されたバンド「A-GIFT ERS」(ア・ギフト・アールズ)が演奏を披露すると、会場には興奮が沸き起こった。軽快なオリジナル曲「A-GIFT」は名古屋教区の5県をモチーフにした歌だが、松浦司教の着座式でのメッセージから引用した作品。メンバーおそろいのパーカーには、5県の形をハートに表したイラストがデザインされている。参加者全員で大合唱してしめく



新成人を祝う 新年の集い



新成人を祝う新年の集い New Year gathering to celebrate the new adults

「A-GIFT」は名古屋教区の5県をモチーフにした歌だが、松浦司教の着座式でのメッセージから引用した作品。メンバーおそろいのパーカーには、5県の形をハートに表したイラストがデザインされている。参加者全員で大合唱してしめく

東京教区の新しい大司教の着座式が12月16日に東京カテドラル聖マリア大聖堂で行われ、タルチシオ菊地功大司教(神言修道会)が同教区第9代大司教として就任した。約2千500人の参列者で超満員となった聖堂には、菊地大司教の前任地である新潟教区や出身地の岩手県宮古市から、また神学生として、あるいは神言修道会管区長として過ごした名古屋からも信者らが集まった。菊地大司教はカリタスジャパンの責任司教でもあるため、各地の被災地からも関係者がお祝いに駆けつけた。



ミサの終わりに会衆を祝福する菊地大司教

菊地功大司教、東京教区に就任

— 参列者は2500人 —

名古屋教区殉教者祭 ユスト高山右近列福記念ミサ

日時 2月3日(土) 14:00~ 場所 カトリック金沢教会 金沢市広坂1-1-54 ☎076-264-2536 司式 ミカエル松浦悟郎司教 内容 列福記念ミサ 松浦司教様を囲んで茶話会 主催 カトリック名古屋教区

東日本大震災・福島原発事故

犠牲者追悼・復興祈願の日

~宗派を超えてつなぐ祈りの手~

カトリック・プロテスタント・仏教界

日時 3月11日(日) 13:30~15:30 場所 カトリック布池教会大聖堂 名古屋市東区葵一丁目12-23 プログラム 13:30 南山大学スコラ・カントールム演奏 14:00 報告 「福島原発被災地の現状」 南原摩利 (カリタス南相馬) 14:46 黙祷 14:47 宗派を超えて祈りのつどい 15:10~15:30 南山大学スコラ・カントールム演奏 手話通訳・要約筆記あります。

問合せ・連絡先 福信館気付 3・11実行委員会事務局・社会福音化推進部 ☎052-935-7180 Fax 052-935-7195 主催 カトリック名古屋教区

名古屋教区

殉教者祭のお知らせ

日時 2月3日(土) 10:30~ ・ロザリオの祈り ・名古屋教区殉教者顕彰ミサ(司式) アウグスチノ野村純一名誉司教 場所 栄國寺境内キリシタン顕彰碑前 (名古屋市中区橋1-21-38) 交通 地下鉄名城線「東別院」駅下車 4番出口北へ3分「下茶屋公園」交差点を西へ4分 ご注意 栄國寺には駐車場がありません。公共交通機関をご利用下さい。 連絡 ・ロザリオをご持参下さい。 ・司祭、助祭の方は「赤」のストラをご持参下さい。 ・式場へは顕彰碑の南側広場(道路沿い)からお入り下さい。 ・顕彰碑、墓地が建立されている区画へはお入りにならないようお願いいたします。 問合せ 名古屋教区宣教司牧評議会 事務局 ☎052-936-8366

福者ユスト高山右近の記念日にミサをささげましょう(2月3日)

日本カトリック司教協議会・列聖推進委員会(委員長・大塚喜直司教)は、「福者ユスト高山右近殉教者の列福からまもなく1年。2月3日は右近の記念日と定められており、ともにミサをささげましょう」と呼びかけています。



(カトリック中央協議会 HPより抜粋)

第30回愛知同宗連講演会のご案内

人権確立社会をめざす学習会
『部落差別解消推進法のこれから』

講師 谷川雅彦部落差別・人権研究所所長
日時 2月21日(水) 14:00~16:00 (開場13:30)
会場 東別院会館ホール ☎052-331-9576 名古屋市中区橋二丁目8-45
地下鉄名城線「東別院」駅下車4番出口より西へ徒歩5分
市バス「東別院前」バス停降車西へ徒歩4分

2016年12月、部落差別が現在も存在すること、差別解消のための責任が国と地方公共団体にあることを明記した画期的な法律「部落差別解消推進法」が成立、公布・施行されました。罰則規定のない理念法ではありますが、大いなる前進と期待され、今後いかに活用されるかが課題とされています。ぜひ、ともに学びましょう。

(同和問題にとりくむ愛知県宗教教団連絡協議会担当司祭・早川)

入場無料・要入場整理券

※参加希望者は、同宗連担当司祭早川(岡崎教会☎0564-51-1848/Fax 0564-64-1215)までご連絡ください。

福者「205殉教者」「ペトロ岐部と187殉教者」
「ユスト高山右近殉教者」列聖祈念募金のお願い

“日本の福者の列聖に向けて祈りましょう”

70年に及ぶ悲願であったユスト高山右近殉教者の列福が2017年2月3日に実現しました。

日本の殉教者たちは、日本の教会に留まらず、世界の教会にとって信仰の模範です。「205殉教者」「ペトロ岐部と187殉教者」「ユスト高山右近殉教者」の列聖に向けて、列聖推進委員会は広範に活動を進めます。

福者の列聖には、声望のあかしとして、奇跡の認定が必須条件です。列聖に向けて祈りを深め、活動を広め高めるために、皆様のおたかご支援をお願い申し上げます。

- 皆様からの献金は、つぎのように使われます。
- 日本の福者の霊性の理解を深めるための企画。
- 福者を紹介するメディア類の制作。
- 当司教協議会が主催・後援する列聖祈念の諸行事。
- 列聖に向けた列聖推進委員会の準備作業。
- 列聖に向けた運動の盛り上げ。

日本カトリック司教協議会列聖推進委員会

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
☎03-5632-4445 Fax 03-5632-4465

■郵便局からの振込み

口座記号番号 00120-1-451323
加入者名 (宗)カトリック中央協議会列聖口
小教区に配布済みの振込取扱票をご利用ください。

■銀行ATM、ネットバンキング等からの振込み

ゆうちょ銀行〇一九支店(当座)
9900-019-0451323
お振込後、委員会事務局に住所と名前、電話番号をFAXでご連絡ください。

2018年名古屋教区 司教叙階
司祭叙階 修道者・奉献生活者の金銀祝
野村純一司教 司教叙階25周年

日時 3月21日(水・祝) 14:00~17:00
場所 カトリック布池司教座聖堂及び地下ホール
内容 14:00金銀祝記念ミサ 16:00地下ホールで茶話会
会費 無料
主催 カトリック名古屋教区

第31回 四旬節黙想会のお知らせ
～障害をもつ人々と共に～

今回は多治見修道院研修センターの緑豊かな大自然の中で、神様の愛に抱かれながら過ごします。

テーマ 「君たちは どう生きるか」
指導 片岡義博神父(富山地区担当助任司祭)
日時 3月17日(土) 12:00受付～ 18日(日) 15:15解散予定
会場 多治見修道院研修センター 多治見市緑ヶ丘38
定員 40名
参加費 9,000円(一泊3食付) 日帰り 3,000円(一食付き)
参加費は当日集金します。3月12日以降のキャンセルは実費をいただきます。
申込先 カトリック名古屋教区障害者連絡会
〒466-0037 名古屋市中区恵方町2-15 社会福祉委員会
Fax 052-852-1422 ファクスまたは郵送のみ(電話申込みはできません)
締切り 2月28日(水) 当日消印有効
詳細は配布済みの黙想会の案内をご覧ください。
連絡 黙想会の前にカトリック名古屋教区障害者連絡会の総会を開催します。

第47回名古屋教区典礼研修会
共同・共働

～司祭と信徒がともに築く典礼～

日時 3月3日(土) 10:00~16:00頃
(受付は9:30より)
15:00より閉会の感謝ミサ
場所 南山教会マリア館
名古屋市昭和区南山町1
交通 地下鉄鶴舞線いりなか駅下車徒歩7分
講師 梅村昌弘司教
(日本カトリック典礼委員長)
参加費 500円(昼食、飲み物は各自持参)
申込み 詳細は各教会に配布済みの申込用紙に記載の上、ファクスで申込みください。
Fax 052-804-8878

終生誓願式及び
助祭叙階式のお知らせ

神言神学院では二人の有期誓願会員が終生誓願と助祭叙階の恵みをうけるはこびとなりましたので、ご案内いたします。

終生誓願式
日時 3月9日(金) 16:00~
場所 神言神学院大聖堂
誓願者 サムエル 荒田啓示
ヨセフ グエン・タン・ヒ
助祭叙階式
日時 3月17日(土) 10:00~
場所 神言神学院大聖堂
受階者 サムエル 荒田啓示
ヨセフ グエン・タン・ヒ
神言神学院院長 レジモン・ヴァルギース

金山駅前 聖なる歌声



南山中学校高等学校女子部の聖歌隊による恒例のクリスマスコンサート

トが12月24日、クリスマスイブの夕方、金山駅前ビルの上階スペースにて開催され、家路を急ぐ人々がその清らかな歌声に足を止めた。

総勢30名ほどの聖歌隊は、白地に青のラインのローブ姿も初々しく、「アデステ」「天使と羊飼ひ」などの日本語や英語のクリスマスキャロル14曲を、道行く人々へのクリスマスメッセージとして披露した。

12才から16才までの少女たちの透明感あるハーモニーは、クリスマスを迎える人々の心に明るい灯火をともしたに違いない。

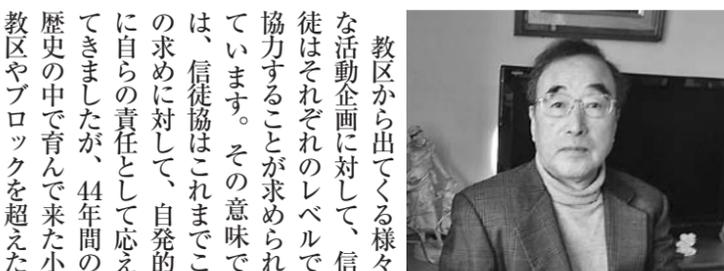
(守山教会 加藤小幸)

教区活性化を目指す信徒使徒職協議会

―地域が生き生き―

―してこようように―

会長 滑川正雄



教区から出てくる様々な活動企画に対して、信徒はそれぞれのレベルで協力することが求められています。その意味では、信徒協会はこれまでこの求めに対して、自発的に自らの責任として応えてきました。44年間の歴史の中で育んで来た小教区やブロックを超えた

人脈こそ、良くも悪くも信徒協の実体ではないでしょうか。人脈を活かして協力を呼びかけていくことが教区活性化に繋がります。信徒協はなくともいいじゃないかという意識に対しても、共に教区活性化運動に参加しよう、と、呼びかけたいと思います。

宣言評議会が無くなく、宣言評議会の回数も減った現在、委員総会を始めとする信徒協の集まりは、名古屋教区信徒にとって教区活性化のため貴重な意見交換の場です。小教区に信徒協委員最低1名を選出して頂

き、その人たちが地域単位で集まり、地域ではどんな運動ができるかを話し合います。松浦司教様は「宣言評に出る信徒協の代表は信徒の代表ではなく、信徒使徒職の視点から発言することになれば、あとは今のままで構わない。信徒協は動かさなければいけない、動けば発信できるネットワークを作ること。教区行事のような宣言評に相応しい活動は宣言評に戻して、信徒協としてこれだけはしたいと思う活動を宣言評に上程すればいい」とおっしゃいます。信徒協は、それぞれ置かれた場

で生きていく私たちの信仰を、互いに分かち合い励まし合う事ができるように支えたり、繋いだりして参ります。

懸案の「お米の一握り運動」も、信徒協として教区全体の運動とするのではなく、この運動を必要だと思っている人たちに、自らの一つの活動として受け取って頂いた上で信徒協と繋げていきたいと思います。巡礼をしようという運動があれば、それを支援し教区内に知らせ繋げていく。つまりネットワークの中心に信徒協がなり、様々な信徒運動の支援活動の輪を広げて、名古屋教区全体をもっと生き生きと活性化させるのです。使徒職を生きたるための様々な研修や分かち合いなど、全体でしかできないような企画は、中央で企画立案をします。それぞれの地域でできることは、その地域の

グループにお任せし、それを応援、広報で宣伝するなど、地域が生き生きして来るように共に働きます。

キリストの降誕を祝うため 各地にひびきわたる歌声



「みんなで歌おうパイ
オルガンと合唱と聖歌
によるクリスマスのお
話」が12月23日、南山教
会大聖堂で行われた。こ
のコンサートはオルガニ
ストの吉田文さんを中心
に数年前から毎年企画さ
れ、この日も多くの人々

「みんなで歌おうパイ
オルガンと合唱と聖歌
によるクリスマスのお
話」が12月23日、南山教
会大聖堂で行われた。こ
のコンサートはオルガニ
ストの吉田文さんを中心
に数年前から毎年企画さ
れ、この日も多くの人々

アドヴェント、キリストの降誕を 待ち望み、大聖堂にひびく聖歌と オルガンの音色!

「訪れて聖堂はほぼ満席
となった。
救い主の誕生の様子を
知らせるルカ福音書が全
体を通して朗読され、そ
れに沿って主だった場面
でオルガン、独唱、合唱、
トーンチャイム、ハンド
ベルの演奏があり、グレ
ゴリア聖歌などの古
典から近代曲までの
幅広い音楽で、イエ
ス様誕生の様子を形
作っていった。また
所々で「もろびとこ
ぞりて」等、よく知
られているクリスマス
スカール数曲をパ
イオルガンの伴奏
で会場の人々と聖歌
隊が共に歌い、雰囲
気を盛り上げた。ま

このコンサートはオルガニ
ストの吉田文さんを中心
に数年前から毎年企画さ
れ、この日も多くの人々

最後にオルガン演奏
に続き、全員で「しずけ
き」を歌うと、その歌声
は聖堂いっぱい響きわ
たり、来場者の心に深く
しみとおった。
会場で集められたチャ
リティー募金はホスピス
聖霊後援会「ぶどうの会」
に全額贈られた。

た、平和の君であるキリ
ストと共に、「平和を求
める祈り」を全員で唱え
た。
最後にはオルガン演奏
に続き、全員で「しずけ
き」を歌うと、その歌声
は聖堂いっぱい響きわ
たり、来場者の心に深く
しみとおった。



開かれていた特設会場
12月24日、南山大学付属
小学校聖歌隊45人がクリ
スマスの歌を披露した。
鈴を鳴らしながら「ジ
ングルベル」や「赤い鼻
のトナカイさん」の歌な
ど7曲を歌いあげ、生徒
たちの清らかな歌声がス
テージから響きわたった。
詰めかけた家族連れ
や多くの聴衆者から一曲
ごとに盛大な温かい拍手
がおくられた。30分間の
短い演奏であったが、聖
歌隊の生徒たちは元氣よ
くクリスマスソングを
歌った。

南山大学付属小学校聖歌隊
さわやかな歌声響かせる!
久屋大通公園の久屋広
場アドヴェント(待降
節)「名古屋クリスマス
マーケット2017」が

【シンポジウム・プロジェクト】
原発拒否運動の経験から学ぶ！
横井原の原発問題 - 若狭で一貫して原発を拒否！
小浜市民はいかにして
原発を拒否してきたのか
講師 中島哲演さん (原発拒否文芸小浜市民の会)

このことを8月6日の
平和の集いに報告した
後、参加者から原発問題
をもっと勉強したいとい
う声があり、その学習会
を2カ月に1回のペース
で行うことになった。2
018年からは偶数月の

「次世代を考える会」の 勉強会をはじめました —原発を知ることから—

昨年平和旬間の「戦
争と平和関連の施設を訪
ねて、その見学の成果を
報告する」という名古屋
教区企画の一つに原発
の視察があり、7月、小
学生1人を含む26人が福
井県高浜原発を訪れた。

「この会に参加するこ
とで知識を広げ、意見交
換できる場になればと思
います。地道な活動であ
ると思いますが、運動が
広がり、今の生活を保つ
には原発が必要だ、とい
う声があります。」
「福島では甲状腺に異
常が見られる子どもが増
えています。この現状
に、お母さん方は危機感
を持ってほしい」
「まずや知ること。一
度でも良いですから、こ
の会に参加してほしいで
す。一緒に、原発のこと
について知りましょ
う!」
(布池教会 三本木國喜)

学校の生徒約25人とオー
ケストラ部員の一部が雨
の中、再びステージに立
ち、期待されていた「ア
レルヤコーラス」を歌い
会場から温かい声援と拍
手がおくられた。
なお、名古屋市の「栄
地区まちづくりプロジェ
クト」推進に基づいて、
セントラルパークなど大
きく整備する計画があ
り、この改修工事の工程
により、来年2018年
と2019年の2年間で
「Eve, My, 青春!」は36
年間歌い続けてきた誕生
の地を離れての実施とな
る予定。

12月の勉強会では中島哲演さんの
講演が収められている、このテキ
ストを用いて話し合いをいたしま
した。

「この会に参加するこ
とで知識を広げ、意見交
換できる場になればと思
います。地道な活動であ
ると思いますが、運動が
広がり、今の生活を保つ
には原発が必要だ、とい
う声があります。」

「青年のための聖書の学び」

2月18日 (日)

テーマ ルカ13章
『御主人様、開けてください。』

対象 青年男女 (18~32歳)

時間 午後2:00~7:50 (高校生4:30まで)
1:30~ 玄関を開けます
2:00~ 聖書「学び」
3:00~ 「個人の祈り」
3:30~ 分かち合い
4:00~4:30 おやつ
4:30~5:30 (生活の分かち合い、
個人の祈り霊的読書、散歩など)
共同体と共に祈りと食事をする
(5:45~ 御聖体礼拝、晩の祈り、
夕食) 食費:自由献金
7:45~ 糾明 サルヴェ・レジナ
終了

連絡先 ☎052-782-5850
名古屋市中種区園山町1-56
聖マリアの無原罪教育宣教修道会

担当者 シスター錠(いかり)政子

2018年「四旬節愛の献金」のお願い

今年は2月14日の「灰の水曜日」から四旬節を迎えます。四旬節は、まさしく御父のいつくしみを多くの人に具体的に示す時です。わたしたちは御父のいつくしみに生き、具体的に生きるようにと派遣されています。四旬節の献金は犠牲としてささげる心をもって行う愛の業にほかなりません。この40日の間、犠牲の心を持って献金にご協力くださり、教会の愛の業にともに参加して下さいますようお願いいたします。

カリタスジャパンでは、世界で起こる自然災害、紛争によって傷ついた人々への緊急災害支援にとどまらず、「いのち」を守るための活動や、少数民族のこどもたちの教育支援、そして女性の自立支援など、時間をかけて取り組まなくてはならない課題のために活用されています。カリタスジャパンのこうした国内外の支援は、皆様の募金によって支えられています。大半はこの四旬節献金によって支えられています。

名古屋教区でも信徒の皆様、祈りと四旬節の愛の業としての献金をお願いし、国内外で様々な困難を抱えて暮らしている人々への連帯と信頼を、ささやかな形にしていきたいと心から願っています。近日中に社会福祉委員会から案内をさせていただきますので、ご協力を宜しくお願いいたします。なお献金は名古屋教区本部事務局を經由しカリタスジャパンへ振り込まれます。

問合せ先 名古屋教区社会福祉委員会
☎052-852-1426 Fax 052-841-2225

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会
発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

摘要	単月明細	2011.3.17 発災から 2017.12.31までの合計
	12/1~12/31	
募金、ご寄付 収入合計	(※1) 242,178	28,740,435
ベース他支援 支出合計	0	27,827,821
	支援金残高合計	912,614

(※1) 12月度に支援金のご協力いただいた小教区(敬称略)
金沢、春日井

★名古屋教区は
「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とカリタス米川ベース、NPO法人「障がい者自立センターかまいし」、カリタス南相馬(旧・原町ベース)、カリタスジャパン(東日本大震災募金)の応援をしています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

★各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載されています。
<http://caritasjapan.jugem.jp>

★支援金振込先
郵便振替用紙にて
口座番号 00880-6-1628
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

☎052-852-1426
FAX 052-852-1422



【祭日(祝日)・祝日(記)・記念日】

2月の教会暦

2日(金) 主の奉獻(祝)

3日(土) 福者ユスト高山右近殉教者(記)

4日(日) 年間第5主日

5日(月) 日本26聖人殉教者(祝)

6日(火) 聖アガタおとめ殉教者(記)

10日(土) 聖スコラスチカおとめ(記)

11日(日) 年間第6主日

世界病者の日

14日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)

四旬節愛の献金(四旬節中)

18日(日) 四旬節第1主日

22日(木) 聖ペトロ使徒(祝)

25日(日) 四旬節第2主日

3月1日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日

世界祈禱日

4日(日) 四旬節第3主日

11日(日) 四旬節第4主日

18日(日) 四旬節第5主日

19日(月) 聖ヨセフ(祭)

25日(日) 受難の主日(枝の主日)

世界青年の日

29日(木) 聖木曜日(主の晩さん)

30日(金) 聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)

聖地のための献金

31日(土) 聖土曜日

【3月の主な教会暦(主日・祭日など)】

2日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日

3日(土) 高蔵寺教会堅信式* / 教会学校教師会*

4日(日) 高蔵寺教会堅信式* / 教会学校教師会*

5日(月) 難民移住移動者委員会研修会

10日(土) 信徒協理事会

11日(日) 東日本大震災犠牲者追悼・復興祈願の日* / 三河B会議 / 教区中高生会

13日(火) 樹の会

17日(土) 教区障害者の黙想会(18日)

18日(日) 城北B会議 / 城東B会議 / 城南B会議

20日(火) カトリック看護協会例会

21日(水) 祝名古屋教区司教座聖堂献堂記念日 / 司教・司祭・修道者金銀祝の祝い*

24日(土) セクシヤルハラスメント対策委員会・「祈りと償いの日」の集い

【告知板】

福信館便り ☎052(935)7180

◇2月の炊き出し 木1日東山、8日布池、15日聖霊・樹の会・南山、22日城北橋、金2日喜望の会、9日AJU・恵方町、16日布池、23日南山

ヨアキム山本勇郎修道士(神言修道会) 1月16日、回盲がんのため聖霊病院で帰天。88歳。

1929年11月25日富山県生まれ。55年3月初誓願。61年3月19日終生誓願。60年9月南山学園着任。85年、同学園事務局長。

577件 28,713,675円
目標額 40,000,000円(12月末)

建設費の返済に協力を

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

『あとから来る者のために』
原発研修会

どなたでも、お気軽にご参加ください。

日時 2月10日(土) 13:30~15:00
場所 カトリック布池教会信徒会館
名古屋市東区葵1丁目12-23
参加費 200円(資料代他)
主催 次世代を考える会
問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360

2017年度名古屋教区 神言会・聖霊会 JPIC 勉強会シリーズ
「移民・移住者の司牧について」(全4回)

第4回 2月17日(土) 「これからの移民・移住者の司牧について」
講演者: 松浦悟郎司教(名古屋教区司教)

時間 13:30~15:30
場所 カトリック布池教会地下ホール 名古屋市東区葵町1丁目12-23
地下鉄東山線 新栄町駅2番出口 北東へ徒歩5分
問合せ カトリック安城教会主任司祭 アントニー神父 ☎0566-98-7766
八事聖霊修道院 ☎052-832-0434 (Sr. 武田)
主催 神言修道会・聖霊会 JPIC 委員会 / 名古屋教区正義と平和委員会

主にささげる24時間~聖体礼拝

2017年10月より主税町記念聖堂で月に2回、聖体礼拝が行われています。また開始時と終了時にはミサが行われます。どうぞご参列ください。

日時 毎月第2・第4 木曜日 19:00~ 金曜日 19:00
場所 主税町記念聖堂
主催 カトリック名古屋教区 責任者 平田政信神父
問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223
平田政信神父の携帯電話 090-1623-1170

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ

「ロザリオの祈り」
第2日曜日14:00~(40分程度) 2月11日(日・祝)・3月休み

「読書会」
第3土曜日14:00~15:30
『パウロの福音』を用います。2月17日(土)・3月17日(土)

~ 信仰講座のご案内 ~

テーマ 「実りある四旬節を過ごし、復活の喜びを味わうために」
講座日 2月7日(水) 時間 10:00~11:30
場所 聖パウロ書院 1階ホール
参加費 6,000円(4回の講座分です)
「イエス・キリストが死と復活をもって、私達に永遠の命を与えて下さった」この重要なことがらを講師を招いて4回の講座で学びます。
問合せ/申込み
聖パウロ書院 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-13-2
☎052-936-4443 Fax 052-799-4461
e-mail: nagoya-shoin@pauline.or.jp

第13回 ホスピス聖霊講演会

日時 2月24日(土) 13:00開場 13:30~15:10講演会
会場 聖霊病院2階聖霊ホール
テーマ 「今を生きるコツ」—より良く生きるために—
講師 沼野尚子氏(宝塚市立病院 緩和ケア病院チャプレン・カウンセラー)

対象 一般
定員 160名(定員になり次第、締め切らせて頂きます)
入場無料ですがホスピス聖霊のためにご寄付を...
往復はがき、またはEメールで
申込み締切り 2月16日(金) 必着
問合せ 〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56
聖霊病院 カトリック社会事業室 ホスピス聖霊講演会係
☎052-832-1181 (内線3316)
Eメール katosha@seirei-hospital.org

主催 聖霊病院ホスピス聖霊推進委員会
後援 ホスピス聖霊後援会(ぶどうの会)

ラビンスメディテーションへのおさそい

日程	テーマ
7 2月24日(土)	「これはわたしの愛する子」

時間 毎回13:30~16:30
場所 聖霊ミッションセンター(旧八事聖霊幼稚園)
名古屋市昭和区八事本町1
参加費 200円 問合せ ☎052-832-0434

【2/10発売】
女子パウロ会 新刊案内
キリスト教とは何か⑩
どん底こそ希望の起点
1,296円(税込)

キリスト教二千年の歴史における反省と謝罪——。退潮ムードに覆われている教会が、今日直面している課題は何か。「価値あるものは、ただ愛だけ」との言葉の重みが問いかけるものは何か。
粕谷甲一講和集 第十巻。

四旬節に おすすめ!
聖週間を生きる
毎日の黙想:
受難と復活節の人物とともに
864円(税込)
レナト・フィリピーニ著

イエスの愛弟子ヨハネ、マグダラのマリア、ペトロ…。さまざまな状況の中で、聖週間の典礼にあずかれない人のために考えられた、受難の主日から復活節までの福音の朗読箇所と黙想への導きをひとつにした祈りの手引書です。毎日、受難物語の各場面を読みながら自分もその場面にいるような経験が出来るはず。 (序文より)